2013年度「研究部会活動記録」

部会主任名	船木由喜彦	現代政治経済研究所
研究課題 ：意思決定の数理経済理論・実験分析		
副題：選好関係に基づくゲーム理論的意思決定の視線測定器実験		
月/日	活 動 記 録	
	<p>本年度は数多くの視線測定器（アイトラッカー）による実験、並びに、通常の経済学実験を行った。視線測定器による実験には船木のほか、日野愛郎教授、山崎新助手、遠藤晶久助手、そして、経済学研究科、政治学研究科の多くの大学院生が加わった。博士課程学生としてはD3宇都氏、D1中西氏が加わっている。</p> <p>そのほか、下記の研究会を行った。毎回10-20名の参加者があり、理論、実験研究に関して最新の研究成果を報告していただき、多くの討論があった。</p> <p>6 月 6 日 Dynamic Noncooperative Group Formation with Size Advantage and Group Reputation (木) グレーヴァ香子氏（慶應義塾大学）</p> <p>6 月 13 日 ナッシュ社会厚生関数、社会制度、そして 個人の認識 (木) 金子守氏（早稲田大学）</p> <p>7 月 23 日 Behavioral Approach to Repeated Games with Private Monitoring (火) 田中知美（世界銀行コンサルタント）</p> <p>7 月 25 日 Strategic uncertainty in an experimental asset market (木) 花木伸行氏（Aix-Marseille Univesity）</p> <p>11 月 5 日 Naivete and sophistication in dynamic inconsistency (火) Zsombor Meder (Ph.D candidate, Maastricht University)</p> <p>11 月 6 日 Punishment Patterns (水) Felix Albrecht (Ph.D candidate, University Marburg)</p> <p>12 月 5 日 Interpersonal Comparison Necessary for Arrowian Aggregation (木) 山邑紘史氏（東京工業大学）</p> <p>3 月 10 日 Hierarchical Agglomeration Bonus for Private Land Conservation (月) 三谷 羊平氏（京都大学）</p>	
来年度の活動計画	来年度はメインの研究テーマを「ゲームにおける利得認識の多角的分析」とし、これを副題として研究活動を継続する。	
終了の場合	研究成果刊行の時期： 年 月（予定） 研究成果の公開方法：	